

イーストスプリング・
ジャパン中小型厳選
バリュー株ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2017年7月28日～2018年7月27日

第4期 2018年7月27日決算

日経新聞掲載名：ジャパ中厳選

第4期末	基準価額	16,431円
	純資産総額	5,663百万円
第4期	騰落率	5.4%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「運用状況」のタブを選択 ⇒ 当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2017年7月28日～2018年7月27日)



第 4 期 首	15,582円
第 4 期 末	16,431円 (既払分配金 0 円)
騰 落 率	5.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



・日本株式市場が上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2017年7月28日～2018年7月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	314円	1.890%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、16,631円です。
（投信会社）	(162)	(0.972)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(144)	(0.864)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(9)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	18	0.108	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(18)	(0.108)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用	5	0.027	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(2)	(0.013)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他）	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	337	2.025	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について (2013年7月29日～2018年7月27日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2014/8/8 設定日	2015/7/27	2016/7/27	2017/7/27	2018/7/27	—
基準価額 (円)	10,000	12,821	11,160	15,582	16,431	—
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	28.2	-13.0	39.6	5.4	—
純資産総額 (百万円)	3,048	26,494	13,337	7,430	5,663	—

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

日本株式市場

期初から2018年1月中旬までは、好調なマクロ経済指標や企業業績を背景に米国株式市場が高値更新を続けたことに加え、米国の利上げや税制改革などへの期待から円安米ドル高となったことを好感して、日本株式市場は上昇基調で推移しました。2月上旬に発表された米国雇用統計において平均時給（前年同月比）が予想以上に伸びたことからインフレ期待が高まり米国長期金利が急上昇したことを背景に米国株式市場は急落し、日本株式市

場もその流れを受けて下落しました。日本銀行が1月中旬に長期国債買入れ額を減らしたことを受けて、量的金融緩和縮小の思惑から円高が進行していたところに、2月の米国株式市場の調整により1米ドル104円台後半まで一時円高が進んだことも日本株式市場にとってマイナス材料となりました。その後は米中貿易摩擦や朝鮮半島情勢などに市場の注目が集まり、日本株式市場は期末まで値動きの荒い展開となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の中小型株に投資を行いました。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

主として日本の中小型株に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、神戸製鋼所や日本発條などを新たに組み入れ、日立造船や沖電気工業などの組み入れを引き上げました。一方で、日本製鋼所やニコンなどを全売却しました。

パフォーマンスについては、期中に売却した日本製鋼所やココカラファインの保有がプラスに貢献しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目		第4期
		2017年7月28日 ～2018年7月27日
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,431

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

マザーファンドのアプローチでは、テーマに基づく市場の選好を追いかけることは避ける一方、割安に放置された銘柄の中から、バリュエーションに基づく投資機会を見い出します。運用担当者が市場に反した行動を取る場合は、個別企業の収益トレンドを熟知したうえで、短期のニュースに反応する市場において、その変動によって生じた投資機会を活用することが重要だと考えます。

話題性のあるマクロ経済等のニュースに市場の関心が短期的に集中することにより株価が大きく変動し、結果として魅力的な投資機会がもたらされることがあります。実際の市場においても魅力的な水準のまま放置された銘柄が存在しています。

多くの日本企業では、現金保有比率が高まるなど財務内容の改善が見られます。マイナス金利下では、経営陣は株主の観点に立った資本効率の向上を図る必要があると考えられ、改善への努力が日本株式市場の長期的な見通しの再評価につながると見ています。

マザーファンドは個別銘柄の選択に集中し、業種配分は行わないものの、小売、不動産関連、地方銀行、電子機器、自動車部品に加えて、資本財や特殊素材を含む幅広い業種において、投資候補銘柄を見い出しています。

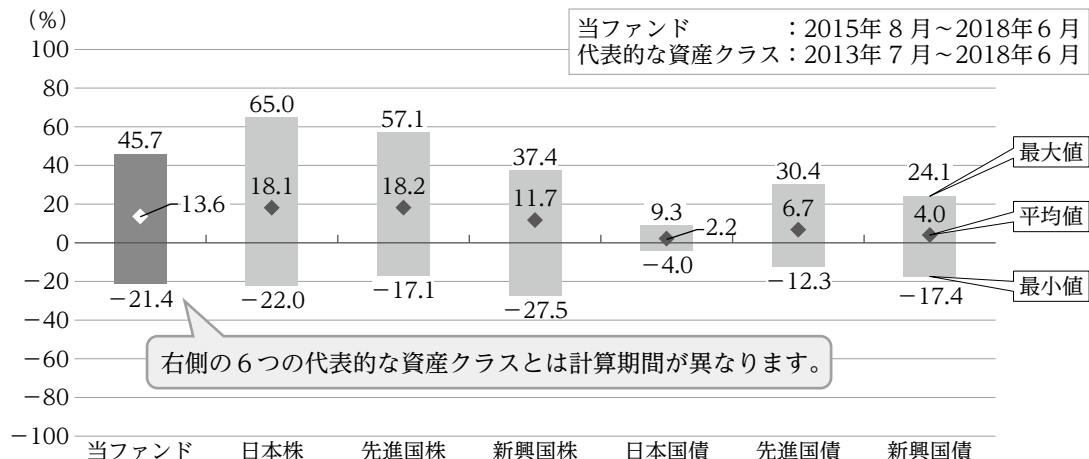
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2014年8月8日から2024年7月29日まで	
運用方針	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュース株ファンド	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュース株ファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、行いません。
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、行いません。
分配方針	毎決算時（毎年7月27日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標準に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P. モルガン GBI-E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

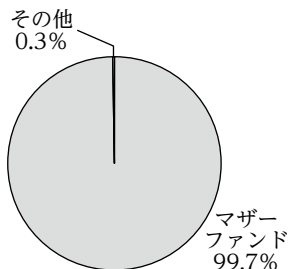
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

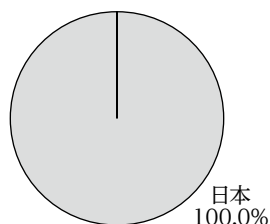
ファンド名	第4期末 2018年7月27日
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	99.7%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

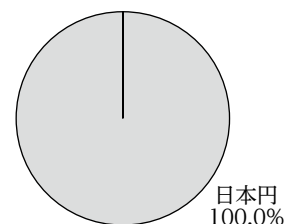
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第4期末 2018年7月27日
純資産総額 (円)	5,663,520,524
受益権総口数 (口)	3,446,786,772
1万口当たり基準価額 (円)	16,431

*当期中において追加設定元本額は103,606,460円、一部解約元本額は1,425,450,968円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド>

基準価額の推移(2017年7月28日～2018年7月27日)

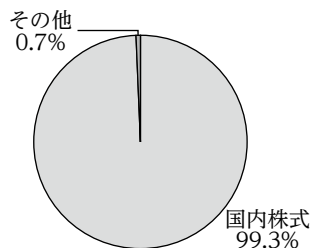


組入上位10銘柄(組入銘柄数：46銘柄)

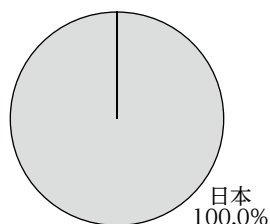
(2018年7月27日現在)

銘柄名	業種	市場	比率
東京きらばしフィナンシャルグループ	銀行業	東証一部	3.9%
日本発條	金属製品	東証一部	3.7%
日立造船	機械	東証一部	3.5%
沖電気工業	電気機器	東証一部	3.2%
千葉銀行	銀行業	東証一部	3.1%
リコーリース	その他金融業	東証一部	3.1%
神戸製鋼所	鉄鋼	東証一部	3.1%
飯田グループホールディングス	不動産業	東証一部	3.0%
住友理工	ゴム製品	東証一部	3.0%
エフテック	輸送用機器	東証一部	2.9%

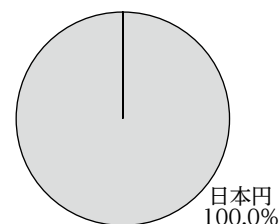
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

1 万口当たりの費用明細

(2017年7月28日～2018年7月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	19円	0.108%	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、17,739円です。
(株式)	(19)	(0.108)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	19	0.108	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。